

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成26年1月16日(2014.1.16)

【公開番号】特開2012-254302(P2012-254302A)

【公開日】平成24年12月27日(2012.12.27)

【年通号数】公開・登録公報2012-055

【出願番号】特願2012-143280(P2012-143280)

【国際特許分類】

A 47 J 31/36 (2006.01)

A 47 J 31/06 (2006.01)

【F I】

A 47 J 31/36

A 47 J 31/06 A

【誤訳訂正書】

【提出日】平成25年11月27日(2013.11.27)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

原料カプセル(9)を導入し或いは除去するために開放でき、前記原料を浸出するために閉じることができる浸出ユニット(1)と、

通路開口(4'、22')を有し、前記原料カプセル(9)を前記通路開口(4'、22')から前記浸出ユニット(1)内へと案内するようになっている通路(4、22)と、

前記浸出ユニット(1)が閉じられるときに前記通路開口(4'、22')を閉じるための閉塞部分(81)と、

を備え、

前記閉塞部分(81)が、

前記原料カプセル(9)が前記通路開口(4'、22')を介して前記浸出ユニット(1)内へ挿通され得る相対的な開放位置から、

前記通路開口(4'、22')が前記閉塞部分(81)によって閉じられる相対的な閉塞位置へと、

前記通路開口(4'、22')に対して相対的に移動でき、

前記閉塞部分(81)が前記閉塞位置にあるとき、前記閉塞部分(81)が、前記通路開口(4'、22')の縁部を越えて延びており、

前記閉塞部分(81)が、前記通路(4、22)の方向(9')に対して略交差する方向(3')に、前記通路(4、22)に対して相対的に移動でき、前記方向(9')に沿って前記原料カプセル(9)が前記浸出ユニット(1)へと案内される、飲料機。

【請求項2】

前記閉塞部分(81)が、前記通路開口(4'、22')上全体にわたって平坦に配置され、前記通路開口(4'、22')に対して相対的に移動できる略プレート形状を有し、前記飲料機が、前記閉塞部分を形成する部分(81)を有するケーシング(80)を有する、請求項1に記載の飲料機。

【請求項3】

前記浸出ユニットが、互いに協働する第1のアセンブリ(3)及び第2のアセンブリ(

2) を備え、前記アセンブリ(2 、 3)のうちの少なくとも一方が、

前記通路(4 、 2 2)の少なくとも一部を前記アセンブリ間に形成するために、前記協働するアセンブリから離れて開放位置へと前記飲料機内で移動でき、かつ、浸出チャンバ(7 ')を形成するために、前記協働するアセンブリへ向けて閉塞位置へと移動でき、

前記閉塞部分(8 1)が、随意的に、前記協働するアセンブリと直接的に或いは間接的に固定される、請求項 1 又は 2 に記載の飲料機。

【請求項 4】

前記第 1 のアセンブリ(3)は、カプセル(9)を前記浸出ユニット内に重力によって挿入する際にカプセルを所定の位置に保持するためのカプセル保持アセンブリ(3)であり、

前記第 2 のアセンブリ(2)は、前記カプセルを少なくとも部分的に取り囲み、前記カプセル内に水を供給するための水注入アセンブリ(2)である、請求項 3 に記載の飲料機。

【請求項 5】

前記カプセル保持アセンブリ(3)は、前記浸出ユニットの前側部分を形成するとともに、略水平な経路に沿って移動できる態様で前記水注入アセンブリ(2)に装着され、前記水注入アセンブリ(2)は、前記ユニットの後側固定部分である、請求項 4 に記載の飲料機。

【請求項 6】

前記カプセル保持アセンブリ(3)が、前記カプセル保持アセンブリ(3)の後方移動をもたらす前記水注入アセンブリ(2)の接続手段(1 6 、 1 7 、 2 0 、 2 1 、 2 3 、 2 4 、 2 2 1 、 2 2 2)に沿って装着され、前記接続手段が、少なくとも一対のスロット(1 6 、 2 2 1 、 2 2 2)と係合する少なくとも一対のピン(1 7 、 2 0 、 2 1)の組み合わせを備え、前記一対のピン(1 7 、 2 0 、 2 1)が前記水注入アセンブリ(2)の一部であり、前記一対のスロット(1 6 、 2 2 1 、 2 2 2)が前記カプセル保持アセンブリ(3)の一部である、請求項 5 に記載の飲料機。

【請求項 7】

前記一対のスロット(2 2 1 、 2 2 2)が、前記水注入アセンブリ(2)に対する前記カプセル保持アセンブリ(3)の直線経路を与えるように配置され、そのような飲料浸出装置が、前記カプセル保持アセンブリ(3)を前記水注入アセンブリ(2)の方へ移動させるためのレバー(3 0)を備える、請求項 6 に記載の飲料機。

【請求項 8】

前記一対のスロット(1 6)が、前記水注入アセンブリ(2)に対する前記カプセル保持アセンブリ(3)の螺旋経路を与えるように配置される、請求項 6 に記載の飲料機。

【請求項 9】

前記カプセル保持アセンブリ(3)が、前記水注入アセンブリ(2)へと及び前記水注入アセンブリ(2)から手で直接駆動されるべく手で握れるようになっている外側部分を有し、前記カプセル保持アセンブリ(3)が、把持手段としての役目を果たす突出する飲料ダクト(1 4 、 1 9)を備える、請求項 4 ~ 8 のいずれか一項に記載の飲料浸出ユニット。

【請求項 10】

前記カプセル保持アセンブリ(3)が、前記カプセル(9)の飲料供給箔部材(9 0)を開放するための手段を備え、該開放手段が、前記カプセル(9)の前記箔部材を穿刺するための一連の穿刺起伏部と飲料のための収集チャンネルとを有するプレート(1 3 、 1 8)を備える、請求項 4 ~ 9 のいずれか一項に記載の飲料浸出ユニット。

【請求項 11】

前記カプセル保持アセンブリ(3)が飲料ダクト(1 4 、 1 9)を備える、請求項 4 ~ 1 0 のいずれか一項に記載の飲料浸出ユニット。

【請求項 12】

前記カプセル保持アセンブリ(3)が、前記カプセル(9)のための通路を有するカプセル保持要素(12)を備える、請求項4～11のいずれか一項に記載の飲料浸出ユニット。

【請求項13】

最外ケーシング(80)を備え、

前記アセンブリのうちの前記少なくとも一方が、前記閉塞位置から前記開放位置へ及びその逆へと直線方向(3')に沿って並進的に或いは螺旋状に移動でき、もって、前記アセンブリのうちの前記少なくとも一方が、前記開放位置と前記閉塞位置との間を、伸縮様で、前記最外ケーシング(80)から外側へ移動できるとともに、前記最外ケーシング(80)内へと内側に移動できる、請求項3～12のいずれか一項に記載の飲料機。

【請求項14】

前記第1のアセンブリ(3)は、リム(92)を有するカプセル(9)を保持するためのカプセル保持アセンブリ(3)であり、

前記第2のアセンブリ(2)は、前記カプセルを少なくとも部分的に取り囲み、前記カプセル内に水を供給するための水注入アセンブリ(2)であり、

前記通路(4、22)には、挿入中に前記カプセル(9)の前記環状カプセルリム(92)を案内する横スリット(26)又はスロット(42)が設けられており、前記通路には、前記開放位置において前記カプセルを前記アセンブリ間で保持するためのバンブ(41)などの保持手段が、前記開放位置における前記アセンブリ間において設けられている、請求項13に記載の飲料機。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0027

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0027】

通路4は、浸出ユニット1内へカプセル9を挿入するために設けられる。浸出ユニット1が開放されると、すなわち、保持アセンブリ3がその最外位置にあると、通路4が、離間する保持アセンブリ3と注入アセンブリ2との間に管状カバー11を貫通して形成され、通路4の開口4'を介した浸出ユニット1内へのカプセル9の挿入を許容する。浸出ユニット1が閉じられると、すなわち、保持アセンブリ3がその最内位置又は引き込み位置へ移動すると、開口4'は、通路4内へのカプセル9の導入方向9'に対して交差する方向で螺旋状に移動する。その後、図1bに点線で示される開口4'は、通路開口4'を閉じるためのケーシング80の閉塞部分81を形成するプレート状縁部下に完全に隠れる。ケーシング80及び管状カバー11は、通路開口4'がその螺旋状の動きを成して縁部分81下でそれと平行に摺動するように、略平坦な僅かに弓形の対応する適合面を有する。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0049

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0049】

通路22は、浸出ユニット1内へカプセル9を挿入するために設けられる。図2aに示されるように、浸出ユニット1が開放すると、すなわち、保持アセンブリ3がその最外位置にあると、離間する保持アセンブリ3と注入アセンブリ2との間に管状カバー11を貫通して形成される通路22は、通路22の開口22'を介した浸出ユニット1内へのカプセル9の挿入を許容する。浸出ユニット1が閉じられると、すなわち、保持アセンブリ3がその最内位置又は引き込み位置へ移動すると、開口22'は、通路22内へのカプセル9の導入方向9'に対して交差する方向3'に並進移動される。その後、図2bに点線で示される開口22'は、通路開口22'を閉じるためのケーシング80の閉塞部分81を

形成するプレート状縁部下に完全に隠される。ケーシング 80 及び管状カバー 11 は、通路開口 22' が並進動作を成して閉塞部分 81 下でそれと平行に摺動するように、略平坦な僅かに弓形の対応する適合面を有する。